

遅くなって失礼しました

最後の日記を書いたから結構忙しい3・4ヶ月を過ごしていました。 去年の10月からはたくさんのイベントがあって良い思い出がたくさんできました。 滝川市役所の女性バスケットボールチームと一緒に大会に出たり、ポーランドの大使に通訳をしたり、滝川ソロブチミストに招待されて初めて着物を着たり、ジェームズのサンクスギヴィング・ディナーでは50名の参加者に出す料理作りを手伝ったり、一人でG-Sky ラジオのDJをしたり、滝川地区の家族と近くに住んでいる外国人達と一緒にファミリークリスマスパーティーを楽しんで、そして、つい最近のイングリッシュキャンプ。

2週間前の1月13日～14日に中学校と高校生のためのイングリッシュキャンプが行われました。 経験したことがないアメリカっぽいキャンプを作るのに緊張していました。 たくさんのアメリカの子供達は3ヶ月の夏休みの間、よくサマーキャンプに行きますが、私の家庭は日系でキャンプへ行く習慣がなかったので子どもの頃は参加しませんでした。 私の友達も参加しませんでしたので、私たちにとってキャンプは映画でしか行われなかったものでした。

キャンプの目的はみんなが楽しむことでした。 みんながゲームで遊びながら楽しめばリラックスできて、コミュニケーションしやすくなると思いました。 更に英語やジェスチャーで会話ができれば共通の興味などについても話して、新しい友達ができるという考え方でキャンプを進めました。 今回は参加者だけでなく、スタッフも楽しむことができたのでこのイベントは成功だったと思います。

2日間はゲームや笑いでいっぱいでした。 最初の日は腰まで深い雪の中でアメリカンフットボールが行われました。 ゲームを始める前に、生徒25名とAET12名、スタッフ5名が協力して雪を踏みつけましたが、雪はまだ深くてふわふわでした。 残念ながら、その雪で前に進むのが難しかったので、2時間の4ゲーム中誰も1ポイントも取れませんでした。 それでもフットボールは楽しくチャレンジできました。

雪の中泳いで、タックルして、笑った後、私たちは栄養たっぷりのチキンタコス、ワッカモーレ・ベーコンハンバーガーなどのメキシカン・アメリカン料理を楽しみました。 みんなはたっぷり食べて何回もお代わりを食べましたが、ある生徒とAETは10回ぐらいお代わりをしていました。 ハンバーガーとタコスを食べ過ぎて結構お腹がいっぱいでしたが、別腹のおかげで、外ではマッシュマロ焼きとスモアズ、ココアをキャンプファイアーで飲食しながら会話ができて幸せでした。 キャンプファイアーの暖かさでリラックスしている雰囲気を作られてみんなの話言葉と笑いが聞こえました。 みんなが仲良くしている最中に次のダンスプログラムに入るのが難しかったです。 あるAETと生徒は仮装して、マカレナや鶏ダンス、YMCA、ステイキング・アライブなどのダンスをしながら賑やかに夜を過ごしました。

夜中ずっと話しながらゲームを遊んだ後、みんなにとって翌日の朝は辛かったです。 でも雪戦会の大会になると、ちょっと前に感じた疲れがアドレナリンに変わってきました。 私が一番楽しんだ部分は10名の男性対30名の女性の雪戦会でした。 ジャンさんとデブさん、私3人で塩入さんのジャケットを引っ張りながら、雪の上でタックルしたことを決して忘れません。 閉会式になって、みんな仲良くなったためもっと長く一緒に遊びたいと思いました。 でも、来年また会えることを楽しみにしているので大丈夫です。 みんなが帰った後、1人の生徒が「英語が下手だけど、キャンプに来て何とか英語が話せて良かったです。 もっと英語を頑張りたいです。」と言いました。 こういうことを聞いて、生徒がキャンプを楽しんでいる姿を見て、キャンプの準備をした甲斐があったと思いました。 また来年キャンプが行われますが、名前を「国際キャンプ」に変えた方がいいと思います。 この広いテーマの方が国際的な食べ物やゲームも付け加えられるし、後2日間プログラムを延長することになったら、国際理解の話もできると思いました。

滝川の印象

はじめまして。サンドラ小池と申します。1ヶ月前に国際交流員として滝川に来ました。

滝川に来る前は上磯町で二年間英語指導助手として中学校で教えていました。私の両親が約30年前に日本からアメリカに移住して、私と兄はロサンゼルスで生まれました。私と兄を見たら「日本人だ」と思いますが、話す言葉を聞いたら「ええ？日本人かな・・・」ときっと悩みます。

日本に二年間住んで、だんだん慣れましたが、最初の時はなぜ日本語が中途半端か必ず説明をしなければならなかったのが大変でした。

今回滝川に来てすぐに地域の人々の暖かさを感じました。そして、滝川にたくさん外国人が住んでいるので驚きました。

一ヶ月の間、滝川国際交流協会のイベントがたくさんありました。滝川国際交流協会が、必ず近くの外国人さんを誘って家族のようにお世話をしてくれる姿を見て安心しました。「何かがあっても誰かが面倒を見てくれる」と思いました。

市役所の7階に事務所がある国際交流協会の皆さんと忙しく、楽しく働けて良かったけど一つ不安がありました。それは市の皆さんの前で話すことでした。

初めての経験はG-Sky 祭りで行いました。ステージに上がって皆の前で話すことが苦手なので上がる前に何回も「これって本当に必要ですか」や「何を言うんですか」とスタッフに確認しました。スタッフは何回もイライラしないで親切に説明してくれました。

それが終わったあと、また大勢の前での挨拶する機会が出来てしまいました。それは、しづき祭りで自己紹介と賞の発表、市役所の山車に乗って叫ぶことがありました。最初は山車に乗ってメインのMCになって叫ぶのが恥ずかしかったです。でも、親切な職員が山車に乗る準備のためにビールを用意してくれました。山車に乗った後でもどんどんビールが私に渡されましたので不安な気持ちが無くなりました。

意味も分からず、言われたとおりに「ソーラッチャ！」と叫んだら市役所のみなさんが「ヨイヤ、ヨイヤ！」と応えてくれました。

周りには陽気な和太鼓音楽と、笑い声、色彩に富んだ行灯の光、屋台料理の香り、北海道の夏の暖かさを感じました。太鼓のビートを聴きながら体を揺さぶって、私が「ソーラッチャ！」と叫んだら、まるで私が指揮者のように観客や踊る職員、山車を押す職員が注目して踊って、応えました。山車の上に乗っている間「This is AWESOME!」（超サイコー！）と、何回も思いました。こんなに皆さんと楽しめる夏祭りは初めてでした。